

第2からーれキッズ川鶴 令和6年度 支援プログラム

療育理念	児童福祉法、子ども・子育て支援法、その他関係法令等を遵守し、発達の特性に配慮を行いながら必要な保育・療育・教育を提供し、その子らしく、健やかな成長を促す		
療育目標 子ども像	<p>【基本的な生活習慣を身につける】 日常生活における基本的な動作の練習を積み重ねながら、自分でやってみようとする意欲を育てる</p> <p>【何事にも積極的に取り組めるようになる】 小さな『できた!』という成功体験から、自信を身に付けあらゆる可能性に挑戦しようとする</p> <p>【集団生活への適応能力を高める】 併用先、就学先での集団生活に必要な『聞く力・考える力・待つ力・感じる力』を身に付け、自ら場面に適した行動ができるようになる</p>		
療育方針	<p>①四季の自然に触れながら、戸外遊びを楽しみ感受性を豊かにするとともに、五感を育てます</p> <p>②旬の食材や伝統料理・行事食などの食育を通して、美味しく食べ丈夫な身体をつくります</p> <p>③好きなこと、得意なことが強みとなるように伸ばします</p> <p>④友だちや動植物への思いやりの気持ちと周りの物を大切にできる心を育みます</p> <p>⑤子育てを前向きにできるように保護者の方の支援を行い、親子の絆を深めます</p>		
3歳未満児 年間目標	<p>①基本的な生活習慣の確立に必要な動作を知り、やってみようとする</p> <p>②周囲の人や様々なものに興味関心をもち、関わろうとする</p> <p>③場面ごとのルールを知り、行動してみる</p>		
3歳以上児 年間目標	<p>①基本的な生活習慣の確立</p> <p>②他者へ興味関心をもち、自ら関わることの楽しさを感じる</p> <p>③公共の場や集団生活における社会的ルールを学び、守ることの大切さを知る</p>		
療育支援プログラムの内容			
年齢	3歳未満児		3歳以上児
5領域	健康・生活	身辺自立を促し、丁寧に伝え、主に、着脱・食事の自立を目指す	着脱・食事の自立とともに、排泄の自立を目指す
	運動・感覚	戸外活動を中心とし、体力の向上と体幹を鍛える	身体の使い方が身に付き、思い通りに身体を動かせるようになる
	認知・行動	他者の存在に気づき、意識できるようになる	大人に促されながら他者の気持ちを知り、自分の気持ちに折り合いをつけられるようになる
	言語 コミュニケーション	他者と関わり合いながら、自ら言葉を発しようとする意欲を持つ	自らの意思を言葉や様々な方法で表現できるようになり、言葉や表現のやり取りを楽しめるようになる
	人間関係 社会性	他者に興味・関心を持ち、自ら関わろうとする	他者との関わり合いを持つことの楽しさを知る
食育	旬の食材や調理を意識した様々な食について体験できる年間プログラムを通して、食べることの大切さや楽しさを知り、豊かな心を育む		
関係機関連携	行政・相談員・医療機関・教育センター・併用先・就学先・放課後等デイサービスとの連携	研修計画	発達障害の基礎理解・強度高度障害・児童発達支援管理責任者等研修への参加
家族支援	定期的な親子での行事、ペアレントトレーニングによる支援の実施	併用先・就学先との連携	幼稚園・保育園・児童発達支援センター・児童発達支援事業所・各小学校・特別支援学校との連携会議
インクルージョンの取組	法人内の児童館・保育園・学童保育との定期的な連携	地域交流	立地である商店街との交流・社会体験の場での交流
保護者支援	延長時間による長時間利用の支援、情報提供、相談支援等	自己・他者評価	全職員対象自己評価、保護者アンケート、保育園としての評価の実施
評価・反省			